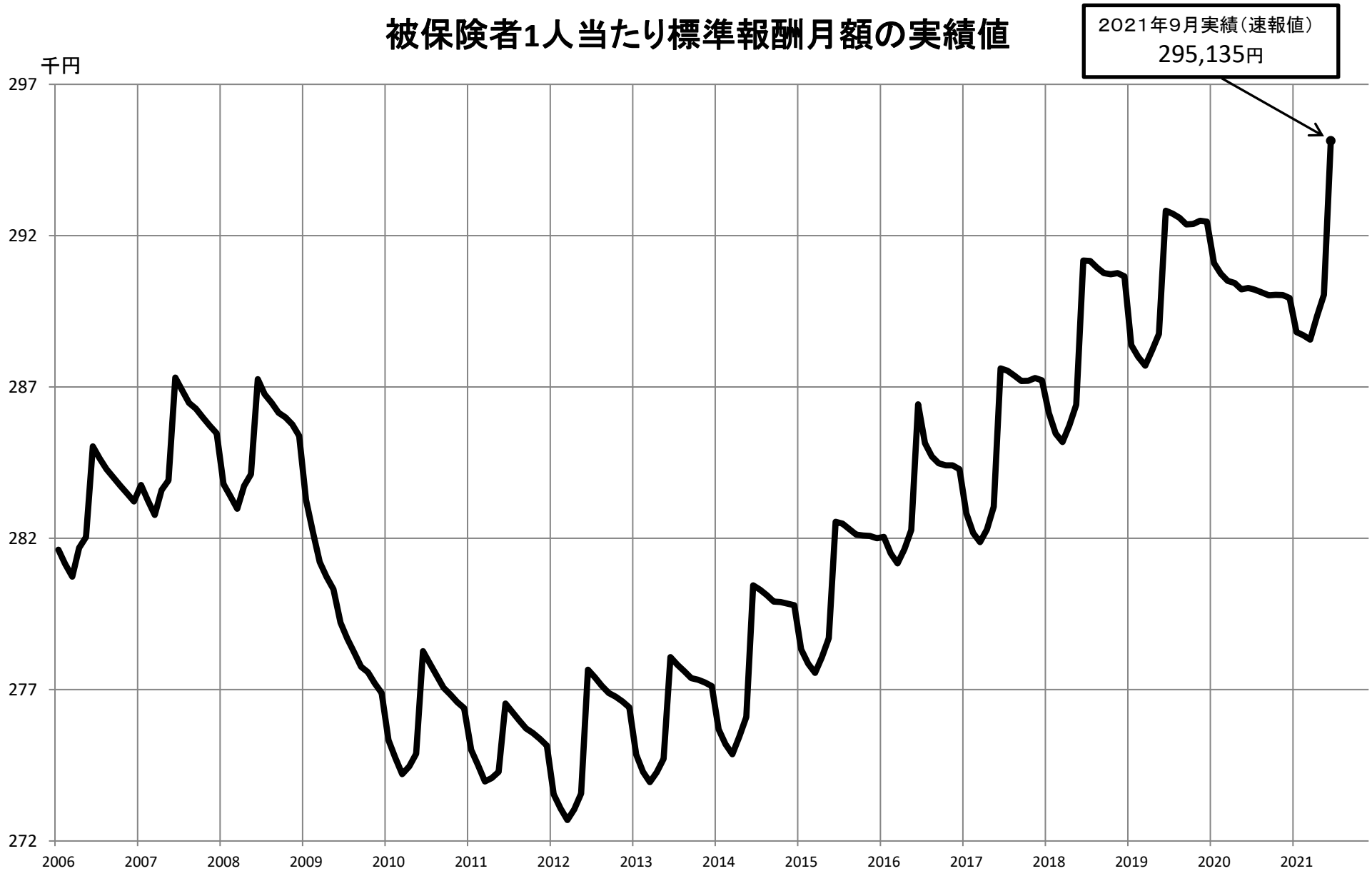
資料6

保険財政に関する重要指標の動向

令和３年11月26日

全国健康保険協会

被保険者1人当たり標準報酬月額の実績値



関 連 す る 主 な 経 済 指 標

●毎月勤労統計調査（厚労省）　2021 年 10 月 22 日発表

８月分（確報）

〇きまって支給する給与（基本給、時間外給与等）

常用雇用労働者数 5～29 人の事業所、一般労働者 **（2015（平成 27）年の平均＝100）**

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
2017（平成 29）	100.5	101.1	101.8	102.7	101.1	101.9	102.2	101.5	102.1	102.4	102.6	103.2
2018（平成 30）	101.1	101.7	102.9	103.4	101.9	102.4	102.7	101.9	102.2	103.2	103.3	103.3
2019（令和元）	101.3	102.4	103.0	103.8	102.0	103.0	103.8	102.9	103.3	104.2	104.2	104.2
2020（令和 2）	102.7	103.1	103.7	103.4	100.7	101.7	101.8	101.5	102.4	103.4	103.5	103.7
2021（令和 3）	101.9	102.5	103.2	104.1	102.2	103.1	103.5	102.4				

●日銀短観（2021 年 9 月分 業況判断ＤＩ）　2021 年 10 月 1 日発表

＜中小企業＞（「良い」－「悪い」・%）

	2020/6 月 →	2020/9 月 →	2020/12 月 →	2021/3 月 →	2021/6 月 →	2021/9 月	先行き（2021/12 月まで予測）
製造業	-45	-44	-27	-13	-7	-3	-4
非製造業	-26	-22	-12	-11	-9	-10	-13
＜大企業＞							
製造業	-34	-27	-10	5	14	18	14
非製造業	-17	-12	-5	-1	1	2	3

※企業経営者に、経営状態が「良い」「さほど良くない」「悪い」の選択肢から一つ選んでもらい、「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」と答えた企業の割合を引く。この数字の変化で、経営者の景気判断の変化を把握する。

●月例経済報告（内閣府）　2021 年 10 月 15 日発表

総論

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、
持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。

雇用情勢

賃金をみると、定期給与及び現金給与総額は持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢の先行きについては、底堅く推移することが期待されるが、雇用調整の動きの如何によっては
弱さが増す恐れもあり、感染症の影響に十分注意する必要がある。

●景気動向指数（内閣府）　2021 年 11 月 8 日発表

2021 年 9 月分（速報）

一致指数：前月比 3.8 ポイント下降し、３か月連続の下降。基調判断は「足踏み」。
先行指数：前月比 1.6 ポイント下降し、３か月連続の下降。
遅行指数：前月比 0.8 ポイント上昇し、２か月ぶりの上昇。

※景気の現状把握及び将来予測に資するため、景気に敏感に反応する各種の経済指標を統合して作成。